



年の瀬、
羽黒山伏の
ほらの音が
庄内平野に
鳴り響く

松の勧進

が、よくわからない方へ

matsu no kanjin

松例祭保存会



出羽三山の里フォトコンテスト平成22年入賞作「気炎」

国指定重要無形民俗文化財
松例祭の大松明行事

松例祭 ピックアップ

羽黒山頂の4つの会場でさまざまな行事が行われる
松例祭。3年見学しないと分からないと言われるほど
複雑なお祭りの、みどころを紹介します。

午後3時

綱まき 庭上(第2会場)

松聖(まつひじり)が切り綱を参拜者にまく行事で、誰でも参加できます。大松明の切り綱は家の軒先にかけると家内安全が約束されるといいます。

午後7時

綱さばき 補屋(第1会場)

松聖が参籠している補屋(しっらいや)で、手向地区八町の若者頭が大松明引き(おおたいまつひき)のための綱争いをします。

午後9時

験競(げんくらご)リハーサル 三神合祭殿(第4会場)

羽黒山伏12人が、位上(いじょう)と先途(せんどう)のどちらが神様のご意思になったかを競います。午後10時45分からの本番は撮影禁止ですが、リハーサルは可能です。

午後10時45分

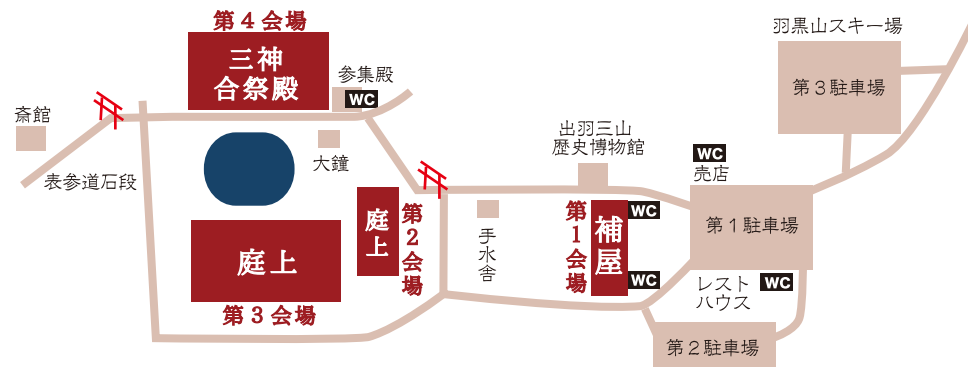
大松明引き 庭上(第3会場)

位上方と先途方に分かれた手向の若者衆が、合祭殿で鳴らされるほらの音を合図に大松明を引いて焼き捨て、その早さと火の燃え方を競います。

午前0時

各神事 庭上(第3会場)

羽黒山の領土を確認する「国分け神事」と新年の清浄な火を切り出す「火の打ち替え神事」が行われます。



食事・休憩

当日、羽黒山頂では売店やレストランが、長時間にわたる祭事のため、食事や休憩をとりながら楽しめます。

補屋の振る舞い

松聖が参籠している補屋では、夕刻からおにぎりとお神酒が振る舞われます。誰でもいただけます。手一礼して御参りしてください。

交通情報

当日は庄内交通の臨時バスが運行します。また第3駐車場と第1駐車場の間は無料のシャトルバスが運行します。

服装

冬の羽黒山頂はかなり冷え込みますので帽子や手袋など防寒対策は万全にお願いします。

松例祭のご案内

お正月はご家族そろって羽黒山へ
松例祭保存会

山形県鶴岡市羽黒町手向字手向7
出羽三山神社社務所内
TEL 0235(62)2355

松の勧進の初穂料は松例祭への参加を意味し、神のご加護を授かることにもなります。
大みそかの夜、羽黒山頂で何が行われているのか、足を運んで観てみませんか。

庄内地方の冬の風物詩といわれる**松の勧進**は、羽黒山に伝わる伝統行事のひとつです。9月24日から百日間の修行「**冬の峰**」に入っている2人の長老山伏「**松聖**」が、その修行のひとつとして数名の羽黒山伏たちと庄内地方を勧進して回ります。

ほら貝の音とともに山伏が訪れた家では、お米あるいは**初穂料**を奉納します。山伏は、庄内に住む人々の家内安全・無病息災を願って松聖がご祈祷した御札をお渡しします。

そして冬の峰結願の日となる大みそかの晩、羽黒山頂では松の勧進で集められた**浄財**をもとに**松例祭**を開催します。

松の勧進はてな

●山伏さんが自宅に来たら？

山伏は、ほら貝を吹きながら皆様の地域を回っています。昔ながらの方式です。ほらの音が呼び鈴代わりです。玄関先からほらの音が聞こえたらお迎えください。山伏も「羽黒山・松の勧進」とあいさつしますので、漆塗りの勧進箱に御浄財（初穂料）を納めていただき、御札をお受けください。

●浄財（初穂料）はいくら位？

浄財（初穂料）ですので、すべてお気持ちで包んで頂いて結構です。かつてはお米で納めておりましたが、現在はお金を納められる方がほとんどです。

●御札はどうしたら？

基本的には神棚でお祀りください。神棚がない場合は棚の上やタンスの上などでも結構です。御札は東側か南側に向くように祀るのが理想的です。

勧進スケジュール

11月15日

羽黒町手向地区

松聖と山伏が、冬の峰参籠所の斎館（さいかん）を出発し、羽黒山の門前町・手向（とうげ）地区を回ります。

11月16日～21日

羽黒山近郷

松聖と山伏が、旧羽黒山領大小増川郷二十五ヶ村を回ります。

12月1日～10日

旧鶴岡市内

松聖と山伏が、最初に旧庄内藩主・酒井家へご挨拶に伺います。その後、松聖は鶴岡市山王町の日枝神社（お山王さん）で折禱を続け、山伏が旧市内を回ります。またこの間は、松聖の参籠所が羽黒山の斎館から鶴岡のお山王さんになります。

11月15日～12月30日

庄内地方一円

松聖に代わり、羽黒山伏たちが北は遊佐町から南は温海、朝日地区まで回ります。



松聖とは

羽黒山伏の最高位。

松聖となることは古くから羽黒町手向地区で最高名誉とされ、地区内から毎年2名の松聖「位上（いじょう）」と「先途（せんどう）」が任命されます。

冬の峰とは

その2人の松聖が、9月24日の幣立祭（へいたてさい）から始まって百日間、山伏修行を続けることです。その間、松聖は肉や魚を口にせず、刃物を体にあてることができないため、髭を剃ることができません。そして最初の50日間は自宅に、後半は羽黒山頂の斎館に参籠し、鍬と鎌を備えた小さな苦草（くそう）きの小屋を模した**興屋聖**（こうやびじり）に五穀の種を納め、天下泰平・国家安泰、五穀豊穰・悪霊降伏、そして庄内に暮らす人々の家内安全・身体堅固・諸願成就を、毎朝毎夕祈禱し続けます。



9月24日～11月13日
松聖の自宅で参籠



興屋聖



11月13日～12月30日
羽黒山頂の斎館で参籠

百日目となる**松例祭**では松聖にどのくらい験力（げんりき）が授かったかをさまざまな行事で競い合います。そして年が明けた夜半、新たな年がよき年となるように、百日間守り続けてきた興屋聖の五穀の種を大地にまきます。

●御札を2枚いただいたのですが？

2枚の御札の右下に、「位上」あるいは「先途」のしるしが入っていて、一緒に祀ることを「両松」といいます。向かって右側に位上を、向かって左側に先途をお祀りください。また多くの地域では山伏が御札を二体一緒にお渡ししますが、一部の地域では別々の山伏が一体ずつお渡しするところがあります。

ちなみに御札やお守りは一体、二体…と数えます。

●山伏さんが来ないけど？

●留守中に来たみたいだけど？

山伏には地区の割当があります。ほら貝が聞こえても来ない場合はお隣の地区が担当なのかもしれません。ご不明な点がありましたら、出羽三山神社までお問い合わせください。またお留守の場合も期間中でしたら再度お問い合わせいただけますので、ご連絡ください。

出羽三山神社社務所 ●0235（62）2355

なお御札は期間中であれば、出羽三山神社や鶴岡のお山王さんでもお受けいただけます。

●写真を撮っても大丈夫？

大丈夫ですが、いきなりだと山伏とはいえびっくりします。なので、ひと言お声掛けください。ただし、神事や祭事などがある場合はお断りすることもあります。